

議第135号平成29年度福山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について日本共産党の討論を行います。

当年度は、短期被保険者証は261件、保険料の滞納件数は553件、減免件数は53件、2017年度の差し押さえ件数は、3件、14万5185円に上っています。被保険者数は、昨年度には6万1627人だったものが、6万3717人へ増加しています。

一人当たりの後期高齢者医療保険料は、6万7860円で、前年度比、1,651円（2.5%）もの負担増となっております。

当該決算年度には、低所得者の保険料の軽減措置の所得割が5割軽減から2割軽減に縮小され、被用者保険加入者の扶養家族から後期高齢者医療制度に移行された人の保険料定額部分も9割軽減から7割軽減へと縮小されました。

その結果、9084人が負担増となり、影響総額は7369万4328円、一人あたり、約8100円もの負担増となりました。

高齢者の生活実態は厳しく、多くの高齢者は年金収入しかない低所得者です。

歳入歳出差し引き額は、1億7275万9千円と前年度の5137万7千円と比べ、3.3倍に増高しています。

負担は増やしておきながら、収支で黒字を増やす在り方は、市民理解は得られません。

以上のべた理由により、決算認定に反対を表明して討論いたします。